

これからの美術館・博物館について

1 これからの美術館

(1) 改修工事について

ア 施設設備の老朽化のため、美術館は令和6年1月19日をもって休館し、美術館から全ての収蔵作品を外部倉庫に搬出した上で、12月に電気設備および空調設備、令和7年1月にエレベーターの改修工事に着手

イ 令和7年3月には内装工事に着手し、4月以降は改修工事と並行して収蔵庫の改修、防犯カメラの更新、消防設備の修繕等を実施

ウ 改修工事は令和8年3月に完了し、令和8年度の1年間は、改修工事に伴って発生する化学物質の濃度を下げるため、館内の換気を行い、作品の保存環境や展示環境を整えるための通風乾燥期間（からし期間）を設定

(2) これまでの休館中の取り組み

ア 外部倉庫に預けている収蔵作品の検品作業、修復が必要な作品の洗い出しと写真撮影を実施

イ 開館以来、40年間の展示履歴のデジタル化、著作権者の整理、WEB公開を前提とした収蔵品データの作成

ウ 再開館後の展覧会の準備として、開催する特別展の内容の検討、所蔵先に直接出向いての展示作品の確認および貸し出しの相談

エ コレクション展（旧称：館蔵企画展）に向けた準備として、館蔵作家の自宅を訪問し、作品の調査を実施

オ 教育機関と連携した取り組みとして、昨年度、小学校を対象に、「鳥」をテーマにした学芸員による出前授業を企画

カ 今年度は、上記オの出前授業の企画を「生涯学習まちづくり出前講座」のメニューとして登録し、広く市民にも提供できる普及事業として提供

(3) 今後の取り組み

ア 昨年度に引き続き、再開館後の展覧会の準備として、参考となる美術館等を訪問

- イ 再開館前の期間を利用したイベント（内覧会、ワークショップ等）の開催を検討
- ウ 再開館時のオープニングイベントの開催を検討
- エ 再開館までのスケジュール等について、ホームページやSNS等を活用した情報発信を実施
- オ 令和7年度中に収蔵品のデータをホームページで公開
- カ 美術館内の収蔵庫に全ての収蔵作品が収まらない状況を踏まえ、市の既存施設の活用や新たに収蔵庫を建設するなどの対応策を検討
- キ 今年度、新たに「生涯学習まちづくり出前講座」のメニューとして登録した講座のほか、美術文化に対する機運醸成を高めるためのイベントを企画

2 これからの博物館

(1) 現在の状況

- ア 郷土博物館の本館は、昭和47年の建設から50年以上が経過し、年々、空調や照明設備等の老朽化が進み、来館者の安全確保をはじめ、資料の保存や展示環境の維持が困難になったことから、令和7年4月1日から休館中
- イ 収蔵庫を含めた郷土博物館の整備について、移転を前提とした検討を開始
- ウ 将来的な移転を踏まえ、収蔵品や書類の整理作業を実施

(2) 今後の予定

- ア 新しい郷土博物館および収蔵庫については、従来の形にとらわれず、市の既存施設等の利活用などを視野に入れた検討を進める。
- イ 郷土博物館勤務の職員について、移転先を確保して移転する。
- ウ 展示事業について、令和8年1月以降、市民センター等での出張展示を実施
- エ 国指定登録有形文化財「津雲家住宅」にて、令和8年3月に実施される企画において、以前、津雲氏から市に寄贈された、郷土博物館所蔵の仏像を展示するため、貸し出しに協力をする予定